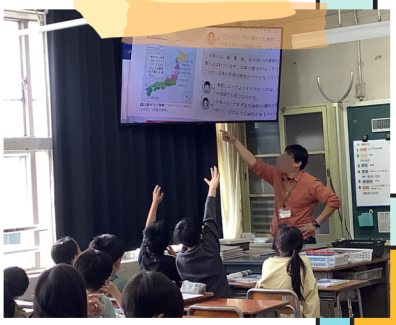
授業改善だより

5年　社会「日本の地形と気候」

4.27
NO.3

社会科で大切な力は？？

教科書の資料を見る場面。
「まず、キャプションを見るんだよ！」
「この資料から何がわかる？」「どこからの情報？」と資料を見るポイントを明確に示す先生。
【資料から情報を読み取る力】、【活用する力】がこれから大切になることをしっかりと伝えています。
自律した学習者になるための学び方や情報収集の方法を知ることはとても重要です。



学びをつなげて

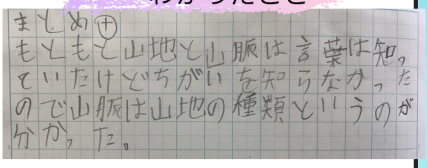
グラフの読み取りでは算数の学習。川の流れでは4年生の理科の学習。社会科の学習の中でも、これまでの他教科の学びとのつながりを意識させる先生。また、発展課題として中学校に行くと役に立つ知識にも触れています。原田小学校がテーマとしている「つながり」が授業のあちこちで登場します！

まとめの書き方

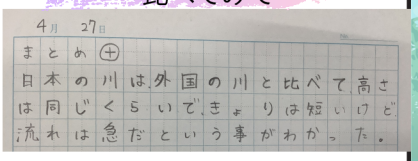
昨年度、原田小学校で提案した「ふりかえり名人」。
先生の授業のまとめも「ふりかえり名人」そのもの。
・新しい学び
・わかったこと
・覚えておきたいこと
・生活とのつながりをポイントとして伝えられていました。

自分の生活体験や身近なことにつなげて考えている子も。
ここにも、学びのつながりが。

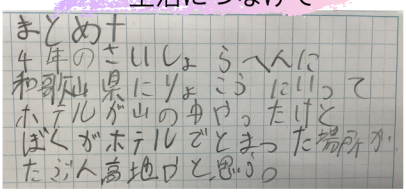
わかったこと



比べてみて



生活につなげて



学びを探究へ

みんなで資料などを確認した後は、各自でプリント学習。教科書を見ながら各自でできる課題設定になっています。これができればB評価と評価基準も明確です。終わった子は、S課題へ。課題を進める中で「こんなことも調べたいな」「これはどうなっているのかな」と疑問や問いが生まれ、それぞれがさらに探究していくシステム。まだスタートしたばかりですが、1年後の姿が楽しみです。